緊急事態宣言から半年、意識は変わった? 家事に関するライフスタイル調査第4弾

コロナ禍で家事負担はアップ! それでも変わらない夫婦の家事分担比率で「しない家事」ニーズは過去3年で最高に。

夫婦間のすれ違いは、「夫の"知らぬ家事"」から!?

家事分担"諦め妻"にさせない With コロナ時代の夫婦円満は「パートナーの大変さを知ること」がカギ!

パナソニック株式会社では、リアルな生活実態を知ることで"今"を深堀りすべく、2017年より家事に関するライフスタイル調査を 実施しています。コロナ禍により生活様式が大きく変わった今回の調査では、男女ともに家事負担が増加する一方で「共働きなら 夫婦で家事分担するべき」と考える人が前回より減少するという驚きの結果が得られました。2020年4~6月にパナソニックが実施した「With COVID-19 Before/After 価値観定点調査」(※)でも、30・40代においてコロナ禍で増えた時間1位は「家事」という調査結果が出ており、通勤時間が減ってもその分家事をやってしまう悪循環に陥っている人が少なくないようです。

【調査概要】2020年30・40代夫婦のライフスタイル調査第4弾

調査対象:関東(1都6県)・関西(2府4県)に在住の30~49歳既婚男女計1,328人 調査方法:インターネット調査 調査期間:2020年6月26日(金)~7月3日(金)

※調査結果の数値は小数点以下を適宜四捨五入して表示しているため、積み上げ計算すると誤差がでる場合があります。 ※リリース中の「コロナ前」「コロナ中」「コロナ後」とは、それぞれ「緊急事態宣言発令前」、「緊急事態宣言発令期間中」、「緊急事態宣言解除後」を指します。 ※調査結果をご紹介いただく際は、「パナソニック調べ」と注釈をご記載ください。

■ (※) 「With COVID-19 Before/After 価値観定点調査」(パナソニック CMJ本部・未来創造研究所調べ) 調査概要、第1回調査2020年4月27日~5月7日【時間と実施行動】10,280人、第2回調査2020年6月2日~9日【お金と時間】14,837人、第3回調査2020年6月2日~9日【住まいと実施行動】11,298人 調査対象者:CLUB Panasonic会員 お問合わせ先: パナソニック CMJ本部 コミュニケーション部 ブランド戦略課 田中 tanaka,touko@ip,panasonic.com

本リリースサマリー

- ■Preceding paragraph 垣間見える、生活様式の変化(パナソニック「With COVID-19 Before/After 価値観定点調査」より) 新型コロナウイルス流行により起こった9大事象 / 12の新たな日常の兆しと、家事解放への気運
- ■Chapterl コロナ禍での「家事負担」と「家事分担」、男女の差は埋まらず 家事にかけている労力・負担は、男女ともに増加傾向 / 共働き夫婦の家事分担比率は大きな変化なし / 在宅勤務によって、家事の量が増えたと感じるのは女性の方が多い
- ■Chapter2 妻はもはや諦めの境地!?「家事分担」を求めなくなった夫婦

家事による疲弊度は、緊急事態宣言発令期間中と2019年の調査との比較で、男性はダウンし女性はアップ /「共働きなら家事分担すべき」と考える人が減少。男性は17.2ポイントも下落 / コロナ禍がきっかけ? 夫婦間の いさかいは昨年に比べ約半減

■Chapte3「しない家事」へシフトしたい諦め妻たち

家事代行や家事をシェアできる家電に興味がある・取り入れてみたい女性は昨年より増加。しない家事ニーズは過去3年でピークに! / 一方、男性はいずれも減少傾向。在宅時間が増えたことで、仕事の合間やちょっとしたすき間時間に家事をこなす、妻のエニタイムな家事の負担が増えている実態に気付かず、量が増えても自分達で出来るだろうと甘く見積もっている家事= 「夫の"知らぬ家事"」がたくさんあるのかも?

- ■Chapter4 夫婦円満の秘訣は、「パートナーの大変さ」を知ること
- コロナ禍を経て、男女とも家事の大変さを痛感 / 「知らぬ家事」の大変さに気付いている男性は、「しない家事」のニーズが高い! / 男性の「知らぬ家事」がない家庭ほど、パートナーシップも良好!
- ■Chapter5 家電に家事を任せる「しない家事」で、おうち時間を充実させよう 「しない家事」化で、おうち時間を充実させたい共働き世帯は約8割! / 毎日のくらしをラクに、楽しくするために役立つ 家電No.1は「食洗機」!

・生活様式が大きく変わったコロナ禍

2020年1月、国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認されました。その後、3月からは小中高一斉臨時休校、4月7日には緊急事態宣言が発令されるなど、これまで「当たり前」だった生活様式はガラリと変わりました。5月25日には緊急事態宣言が解除されたものの、今後の大規模な感染を危惧し、現在でも在宅勤務が続く会社・人は少なくありません。

パナソニックではCLUB Panasonic会員を対象に「With COVID-19 Before/After 価値観定点調査」を実施し、コロナ前(緊急事態宣言発令前)からコロナ後(緊急事態宣言解除後)では、ライフスタイルや価値観がどのように変化したのか調査しました。

・Withコロナ生活に浮かび上がる、「9つの事象」と「5つの価値観」

「With COVID-19 Before/After 価値観定点調査」の調査結果からは、生活様式(右図)と価値観(下図)が変わりつつあることが明らかになりました。

生活様式の9つの変化は、外出自粛やそれに伴う在宅時間の長さ、そして未知の敵への不安から生まれたものと考えられます。さらにこれらの事象は人々の価値観に変化をもたらし、「新たな日常」への転換を後押しているようです。

コロナ後の5大価値観

自分と社会の 距離感の 再認識

自分は 一人ではない

くらし デザインの 二極化 新ライフスタイル、 テクノロジーは 取り入れられる レジリエンスを 意識した くらし

新型コロナウイルス流行により起こった9大事象 在宅時間 新たに 休養・くつろ 増加に伴い、 生まれた ぎの増加 増える家事 家事と支出 家事育児の くらしの メディア インフラ支出 関わり方は 利用機会• 世代差が 増加 時間の増加 利他的 オンライン、 居心地よい エシカルな リモートの 空間づくりと 恩恵享受 新たな行動 目や芽

「時間」・「お金」・「行動」の分析から見えた、新たな日常の兆し12

感染恐れは定着

外敵からの防御、身体の中からの防御が進む

収入減を前提としたくらし

省エネ・安全・レジリエンスは基本概念

在宅勤務が定着

リモート生活のバリエーションが増える

様々な食スタイルの出現

家庭内在庫管理の意識が生まれる

自分時間の再設計

家族や他者とのコミュニケーションの価値再認識

家事の総量増加からの解放を求める

居心地のよい空間づくりが進む

・Withコロナ社会で高まる、家事解放への気運

「時間」・「お金」・「行動」の分析から、12の新たな日常の兆しが見えてきました。コロナ禍では、従来からある家事に加え「よりこまめな換気・消毒」、「清潔・除菌対策」といった新たな家事が増え、「With COVID-19 Before/After 価値観定点調査」においても、コロナ前後では40代以下において家事の時間が増加し、子育て世代ほど家事負担が増えていることがうかがえます。

一つひとつが小さな行為だとしても積み重なることで大きな負担になってしまうことから、これまでの家事も含め「家族間の家事シェア」や「家電への家事シェア」を推し進め、一人あたりの家事負担を軽くしたいと考える人も増加するかもしれません。パナソニックでは、家事の総量増加とそれに伴う家事解放への気運について「家事に関するライフスタイル調査第4弾」を実施し検証を重ねました。その結果、「家事負担は男女ともに増えており、"しない家事"化を進めたい」という現実が浮かび上がってきました。次ページからは、これらの調査結果について紐解いていきます。

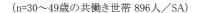
■Chapter1 コロナ禍での「家事負担」と「家事分担」、男女の差は埋まらず

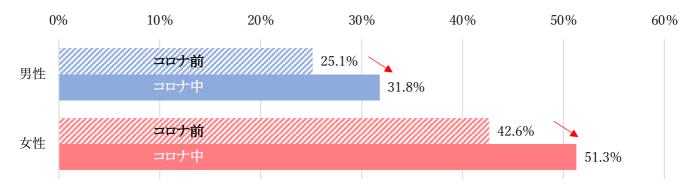
・家事にかけている労力・負担は、男女ともに増加傾向

コロナ前とコロナ中では、男女とも家事負担が増加していました。在宅時間が増えたことで、ついつい家事をやってしまう、やらざるを得ない人が増えたのではないかと推測されます。

また、30~40代の共働き世帯では「コロナ前と比べコロナ後は家事負荷が増加した」と回答した女性が男性を上回っており、とく に平日は3割近くの女性が負担増を感じていました。

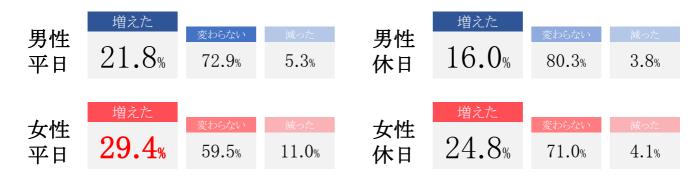
「仕事」と「家事」のバランスで「家事」にかけていた割合





コロナ後、家事にかける負荷が増加した人の割合

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)

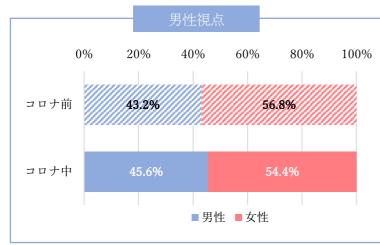


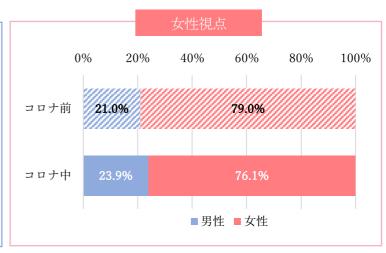
・共働き夫婦の家事分担比率は大きな変化なし

コロナ前とコロナ中の家事分担比率では、大きな変化が見られませんでした。しかし、男性視点では「男女でほぼ半々」に分担していると感じている反面、女性視点では「23.9%: 76.1%」となっており、夫婦が平等に家事分担するのはまだまだ難しいようです。

コロナ前とコロナ中、夫婦の家事分担率は?

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)



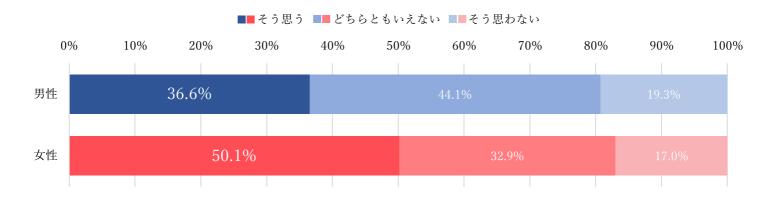


・在宅勤務によって、家事の量が増えたと感じる人の割合は女性の方が多い

自宅で仕事をすると、かえって家事の総量が増えると感じた人は、共働き女性の半数に上ります。しかし男性は36.6%にとどまっており、このあたりの差が前述の「家事分担比率の男女の意識差」につながっているとも考えられます。

在宅勤務をしていると、家事の総量が増えますか?

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)



■Chapter2 妻はもはや諦めの境地!?「家事分担」を求めなくなった夫婦

・家事による疲弊度は、緊急事態宣言発令期間中と2019年の調査との比較で、男性はダウンし女性はアップ

昨年とコロナ中の肉体的・精神的な疲労度の変化を見ると、昨年は仕事で疲れている人のほうが多く見受けられました。女性はコロナ中に家事への疲労度がアップしており、夫婦ともに在宅時間が長くなっても"妻の負担減"にはつながらない様子が垣間見えます。

仕事や家事で疲れている人の比較

(緑:2019年8月 | n= 30~49歳の共働き世帯 809人/SA) (黄:2020年7月 | n= 30~49歳の共働き世帯 911人/SA)

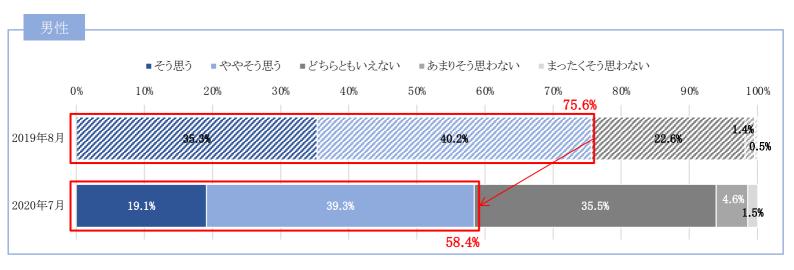


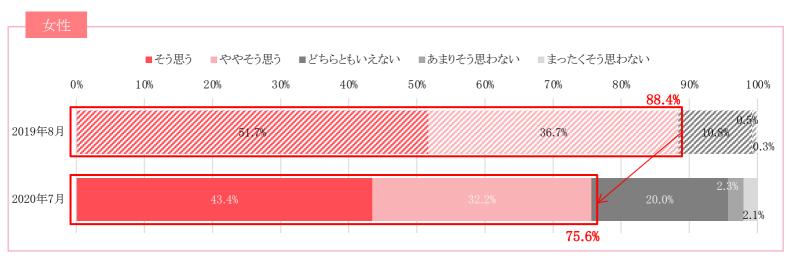
・「共働きなら家事分担すべき」と考える人が減少。男性は17.2ポイントも下落

緊急事態宣言発令をはじめとするコロナ禍を経験した後の今回の調査では、「共働きなら家事も夫婦で分担するべき」と考えている人が昨年の調査に比べ大きく減っていました。男性は「分担するべきと思う」人が75.6%から58.4%と17.2ポイントも減少。女性は12.8ポイント落ちており、「以前よりも家事の負担が増えているけれど、パートナーに期待するよりも自分でやってしまったほうが早い」と諦めの境地に達してしまった、すなわち"諦め妻"が増えているのかもしれません。

共働きなら家事を夫婦で分担するべきと考えている人

(2020年 n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA、2019年 n=30~49歳の共働き世帯 809人/SA)





・コロナ禍がきっかけ? 夫婦間のいさかいは昨年に比べ約半減

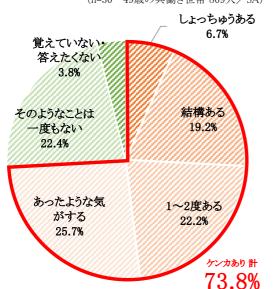
不思議なことに、妻への家事負担が増えているにも関わらず、夫婦げんかや「夫婦共疲れ」による夫婦間トラブルは減っているこ とがわかりました。

互いに在宅勤務へと環境が変わっても、家事に対する意識や行動が変わらない夫。そんな夫への不満はあるものの、世界規模 でドラスティックに変化している現状では、揉めるよりも出来る範囲で協力し合ったほうがいいと割り切り、吹っ切れた人が少なくな いのかもしれません。

DOWN

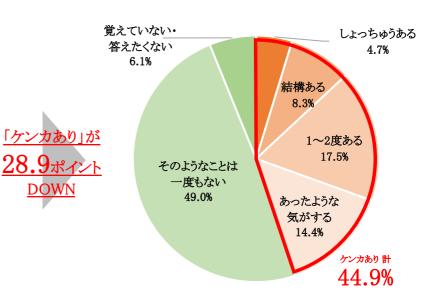
家事の分担によるケンカ | 2019年8月

(n=30~49歳の共働き世帯 809人/SA)



家事の分担によるケンカ | 2020年7月

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)

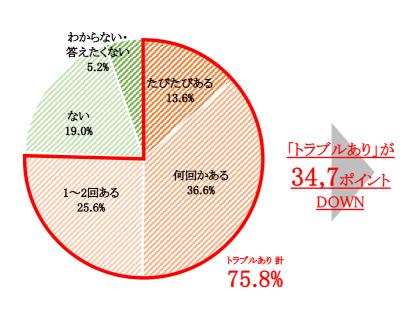


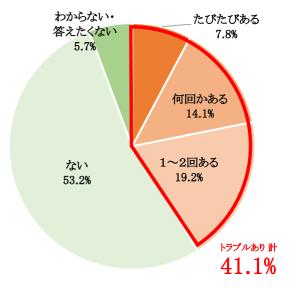
疲れによるパートナーとのトラブル 2019年8月

(n=30~49歳の働き世帯809人/SA)

疲れによるパートナーとのトラブル | 2020年7月

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)





■Chapte3 「しない家事」へシフトしたい諦め妻たち

・家事代行や家事をシェアできる家電に興味がある・取り入れてみたい女性は昨年より増加し、しない家事ニーズは過去3年でピークに!

在宅時間が増えたことで、仕事の合間やちょっとしたすき間時間に家事をこなす妻の、エニタイムな家事の負担が増えている現実。家事代行や家電をうまく使うことで、自分の手を煩わさずに家事を済ませられ、家事の質も上がる。女性たちからは、そんな「しない家事」へのポジティブな意見が高まっており、あらゆるツールを駆使して家事への負担、労力を減らしたいというニーズが高まっていることがわかりました。これは過去3年間の調査でも最高の数値。

思うように家事分担するのが難しいのであれば、気兼ねなく使える手段をうまく活用したい妻。「自分も家事をやっているつもり」、「ツールに頼らなくても十分自分たちでこなせる」という夫の勘違いやすれ違いに悩む女性が多いのではないでしょうか。

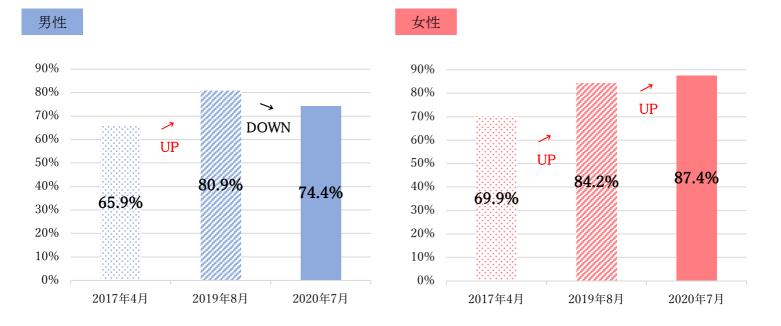
「しない家事」ニーズの変化

(2019年8月 | n= 30~49歳の共働き世帯 809人/SA) (2020年7月 | n= 30~49歳の共働き世帯 911人/SA)



家事を家電に任せて負担を減らしたい人の割合の変化

(2017年4月 | n=30~49歳の共働き世帯 1,256人/SA) (2019年8月 | n=30~49歳の共働き世帯 809人/SA) (2020年7月 | n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)



・一方、男性はいずれも減少傾向。在宅時間が増えたことで、仕事の合間やちょっとしたすき間時間に家事をこなす、妻のエニタイムな家事の負担が増えている実態に気づかず、量が増えても自分達で出来るだろうと甘く見積もっている家事=「夫の"知らぬ家事"」がたくさんあるのかも?

便利なツールへのポジティブな感情に、なぜ男女差が生まれるのでしょうか。

ひとつには、在宅期間中に普段より多くの家事を担ったことが自信につながり、妻にどれだけの負担増加が生まれているかを想像せず「夫婦だけでも十分に回していける」と結論づけてしまった可能性が考えられます。

在宅期間中、困ったときはまず母親に声をかける子どもたち。声をかけられたりトラブルが発生すると対応せざるを得ない母親。 ちょっとしたすき間時間に手の届くところを掃除したり、消耗品を補充したり、断続的に家事をこなす女性とそれに気が付かない 男性。こういったところにも、家事に対する意識の差があるのかもしれません。

夫の「知らぬ家事」がたくさんあるかも!?



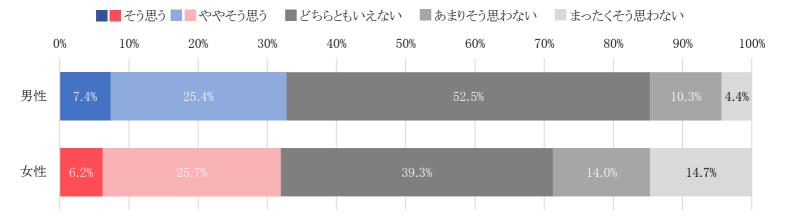
■Chapte4 夫婦円満の秘訣は、「パートナーの大変さ」を知ること

・コロナ後を経て、男女とも家事の大変さを痛感

様々な制約があった自粛期間を過ごしたことで、男女ともに"家事はやっぱり大変だ"と感じる人が増えました。また、男性は32.8%、女性は31.9%が家事について夫婦間の理解が深まっており、コロナ禍は、家事に対する考え方にも影響を与えたと考えられます。

コロナ後を経て、家事が大変であるという理解が夫婦で深まった

(2020年のn=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)

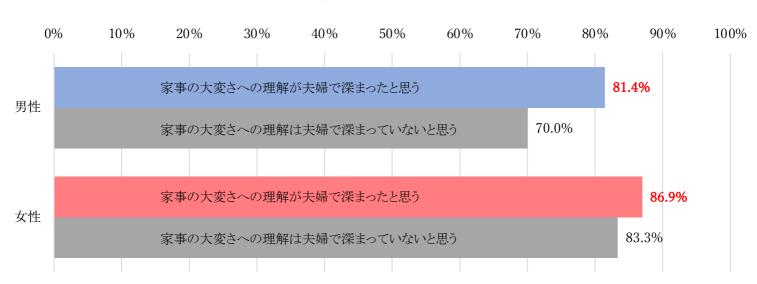


・「知らぬ家事」の大変さに気付いている男性は、「しない家事」のニーズが高い!

家事の大変さに気付いた男性は、気付かない男性よりも、家事を家電に任せて負担を減らす「しない家事」のニーズが11.4ポイントも高いことがわかりました。家事の大変さに気が付いたからこそ、任せられることは委ね、その分の手間や時間を違うことに有効に使う。そのことで心と体に余裕が生まれるということを身をもって体験したのかもしれません。

家事を家電に任せて負担を減らしたい人の割合

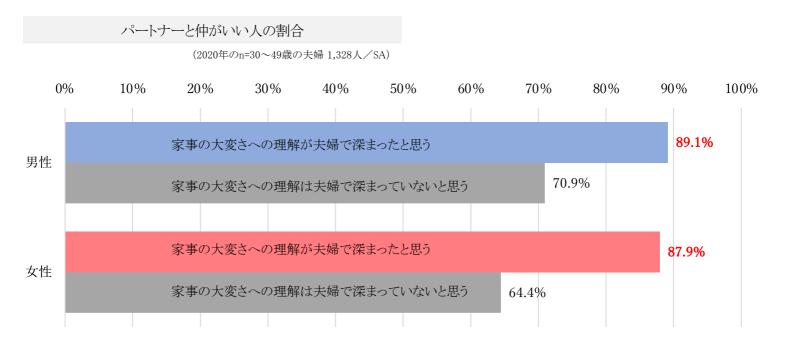
(2020年のn=30~49歳の夫婦 1,328人/SA)



・男性の「知らぬ家事」がない家庭ほど、パートナーシップも良好!

家事の大変さを互いに理解することは、夫婦関係にも影響を与えるようです。

コロナ禍をきっかけに"夫婦で"家事の大変さを理解した人は、理解していない人よりもパートナーシップが良い傾向が見られました。男性が「夫婦で理解を深めた」と自覚している場合は18.2ポイント、女性側が自覚している場合は23.5ポイントもの開きが見られ、「家事の大変さを分かち合う」ことが夫婦仲を深まる秘訣であると考えられます。



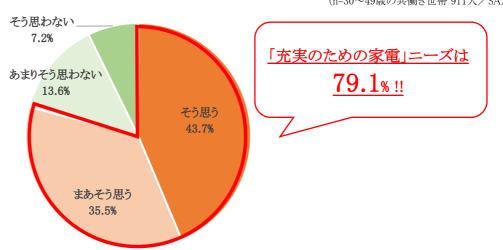
■Chapte5 家電に家事を任せる「しない家事」で、おうち時間を充実させよう

・「しない家事」化で、おうち時間を充実させたい共働き世帯は約8割!

コロナ禍による自粛生活を経て、今よりも家電に家事を任せて生活を充実させたい、楽しみたいと考えている共働き世帯は約8割にのぼります。女性のほうがその傾向は強いようで、男性よりも12.3ポイントも高い人が「自粛生活をきっかけに、家電に任せて生活を充実させたい/楽しみたいという気持ちが強まった」と回答しています。今後、家事とどのように向き合っていくか夫婦で話し合い、「しない家事」を増やすことで、おうち時間はより充実すると言えそうです。

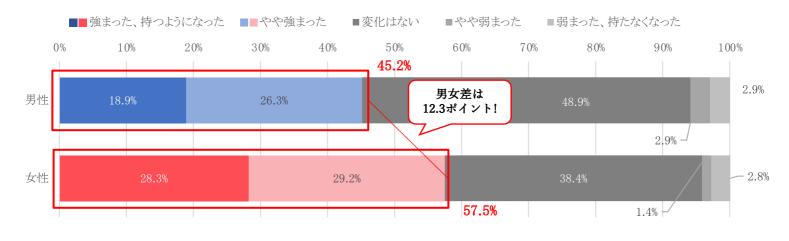
今以上に家事を家電に任せ、生活を充実させたい/楽しみたいと思いますか?

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)



新型コロナウイルスによる自粛生活をきっかけとして、今以上に家事を家電に任せ 生活を充実させたい/楽しみたいという気持ちに変化はありましたか?

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/SA)



・毎日のくらしをラクに、楽しくするために役立つ家電No.1は「食洗機」!

家事を任せることで生活にゆとりが持てる「しない家事」のニーズは、家電ランキングからもうかがえます。

自粛生活をきっかけに、ニーズが高まっている家電1位は「食洗機」。僅差で「ロボット掃除機」がランクインしており、いずれも14%以上の人が欲しいと回答。4位は洗濯乾燥機となっており、"自動で家事を任せられる"機能を持つ家電が人気です。最新家電は省力化のみならず、手作業以上の働きを持つ機能が満載なので、家事の仕上がりのベースアップも図れます。注目の最新商品とその魅力については、次ページをご参照ください。

自粛生活をきっかけに欲しいと思うようになった家電

(n=30~49歳の共働き世帯 911人/MA)

1	食洗機	14.9%
2	ロボット掃除機	14.1%
3	除菌・消毒できる家電	10.3%
4	洗濯乾燥機	8.1%
5	布団乾燥機	5.4%

■"しない家事"ニーズを叶える「家事シェア」家電

食器洗い乾燥機



品名	卓上型食器洗い乾燥機
----	------------

NP-TZ300 品番

- 1.「ストリーム除菌洗浄」を新搭載し、洗浄全コースで除菌※1が可能
- 2. 新搭載「ボトルホルダー」で、食洗機対応のマイボトルやタンブラーなど長筒形状の食器類の奥底まで清 潔に洗浄できる
- 3.「ナノイーX」を搭載し、まとめ洗い時の庫内のニオイを抑制※2・除菌※3。洗浄後も清潔に食器を保管できる

※1:「乾燥のみ」の設定時は除菌できません

<除菌の試験内容>●試験機関:(一財)日本食品分析センター●試験方法:寒天平板培養法●除菌の方法:加熱高温水噴射方式●除菌の対象:庫内食器類●試験結果:99%以上の除菌効果。除菌効果は、食器の量や位置、汚れの程度により異なります。試験成績書発行年月日: 2020年1月17日 試験成績書発行番号:第19140845001-0101号

- ※2:<「ナノイー」による食洗機庫内のニオイの抑制について> ●試験機関:パナソニック(株)プロダクト解析センター●試験方法:汚れ付着食器を設置した食洗機庫内のニオイを6段階臭気強度表示法にて
- ※3: <「ナノイー」による食洗機庫内の菌の抑制について
- ※3. * ハノイ)」による長い収益にからかれば、 ●試験機関: (一財) 日本食品分析センター●試験方法: 食洗機庫内の菌液付着食器の生菌数測定●除菌方法: 「ナノイー」を放出●除菌の対 象: 庫内食器類●試験結果: 8時間後で菌の減少率99%以上(自社換算値)除菌効果は、食器の量や位置、汚れの程度により異なります。試験 成績書発行年月日: 2018年7月3日 試験成績書発行番号: 第18060975001-0101号

・ロボット掃除機



品名	ロボット掃除機	RULO(ルーロ)
----	---------	-----------

品番 MC-RSF1000

- 1. 業界トップクラス※1のレーザーセンサーを使った空間認識技術「レーザーSLAM」で、360°全方位の空間 をすばやく正確に認識し、掃除完遂性能を向上※2
- 2.「リアルタイムマップ」※3で走行状況を確認でき、ロボット掃除機への安心感を向上※4
- 3. フロント3Dセンサーとアクティブリフト機能で段差やラグなど障害物を検知し、本体を持ち上げスムーズに 乗り越える走行を実現
- 4. 音声操作ができるGoogleアシスタント対応とotomo(おとも)機能で使いやすさを向上

特長

特長

※1:国内ロボット掃除機搭載のレーザー細分化計測力において(2020年2月10日現在)当社調べく検証条件>465 mm幅の平面壁に対し1 m離

- ※1:国内ロボット掃除機搭載のレーザー細分化計測力において(2020年2月10日現在)当社調べく検証条件>465 mm幅の平面壁に対し1 m離れた場所からレーザーを水平に照射し、壁面に照射されたボイント数を測定く結果>照射ボイント数29点
 ※2:掃除完遂率の向上は間取りとマップの一致率とゴミ取り残し量の比較において当社調べく検証条件>HPに掲載
 ※3:10月下旬から「RULOナビ」アップデートによって「リアルタイムマップ」が追加されます。
 ※4:1 Android5.0以上、iOS10.0以上をお使いください。「RULOナビ」アプリはタブレット端末には対応していません。Wi-Fi環境が必要です。セキュリティ対策のため、必ず暗号化方式WPA2またはWPA(いずれもTKIPまたはAES)の設定ができる無線LANルーターをご使用ください。通信環境や、使用状況によっては、ご利用できない場合があります。「RULOナビ」アプリのサービスのご利用にはペナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」への登録が必要です。Androidは、Google LLCの登録商標です。MC-RSF1000・RSF600のすべての機能をお使いいただくためにはスマートフォン及びWi-Fi環境が必要です。通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。
 ●室内環境や障害物の材質・形状等によりうまく検知・走行しない場合があります
 ●Google、Google Home、Google Nest Mini は Google LLC の商標です



品名	ロボット掃除機	RULO(ルーロ)
----	---------	-----------

品番 MC-RSF700(2020年10月下旬発売予定)

- 1. レーザーセンサーを使った空間認識技術「レーザーSLAM」で、360°全方位の空間をすばやく正確に認 識し、掃除完遂性能を向上*1
- 2.「リアルタイムマップ」で走行状況を確認でき、ロボット掃除機への安心感を向上※2
- 3. 人の後ろについてきて任意の場所を掃除できるotomo(おとも)機能を搭載

特長

※1:掃除完遂率の向上は間取りとマップの一致率とゴミ取り残し量の比較において当社調べく検証条件>HPに掲載 ※2:1 Android5.0以上、iOS10.0以上をお使いください。「RULOナビ」アプリはタブレット端末には対応していません。Wi-Fi環境が必要です。セキュリティ対策のため、必ず暗号化方式WPA2またはWPA(いずれもTKIPまたはAES)の設定ができる無線LANルーターをご使用ください。通信

マュリイ対象のため、必り電子になれては、ご利用できない場合があります。「RULOナビ」アプリのサービスのご利用にはパナソニックの会員サイトでLCUB Panasonic」への登録が必要です。Androidは、Google LLCの登録商標です。MC-RSF1000・RSF600のすべての機能をお使いいただくためにはスマートフォン及びWi-Fi環境が必要です。通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。
●室内環境や障害物の材質・形状等によりうまく検知・走行しない場合があります
●Google、Google Home、Google Nest Mini は Google LLC の商標です



品名	ロボット掃除機	RIII O (1V-17)

品番 MC-RSF600 (2020年10月下旬発売予定)

1. レーザーセンサーを使った空間認識技術「レーザーSLAM」で、360°全方位の空間をすばやく正確に認 識し、掃除完遂性能を向上※1

2. 「リアルタイムマップ」で走行状況を確認でき、ロボット掃除機への安心感を向上※2

特長

※1:掃除完遂率の向上は間取りとマップの一致率とゴミ取り残し量の比較において当社調べく検証条件>HPに掲載 ※2:1 Androids.O以上、iOS10.0以上をお使いください。「RULOナビ」アプリはタブレット端末には対応していません。Wi-Fi環境が必要です。セキュリティ対策のため、必ず暗号化方式WPA2またはWPA(いずれもTKIPまたはAES)の設定ができる無線LANルーターをご使用ください。通信環境や、使用状況によっては、ご利用できない場合があります。「RULOナビ」アプリのサービスのご利用にはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」への登録が必要です。Androidは、Google LLCの登録商標です。MC-RSF1000・RSF700・RSF600のすべての機能をお使いいただくためにはスマートフォン及びWi-Fi環境が必要です。通信環境や使用状況によっては、ご利用できない場合があります。

- ●室内環境や障害物の材質・形状等によりうまく検知・走行しない場合があります
- ●Google、Google Home、Google Nest Mini は Google LLC の商標です

・ななめドラム洗濯乾燥機



NA-VX900BL/R



NA-VG2500L/R

品名	ななめドラム洗濯乾燥機
品番	NA-VX900BL/R、NA-VG2500L/R(2020年11月上旬発売予定)
特長	1. 汚れ移りを抑える**1「2度洗い」モード新搭載。 2. 最適な量を自動で計量して投入。大好評の「液体洗剤・柔軟剤 自動投入」。 3. 温水泡洗浄がさらに便利に。「約40℃毛布コース」や、普段着とおしゃれ着の2種類の「約40℃つけおきコース」になり、大物寝具の蓄積した皮脂汚れやニオイ**²、あきらめていたおしゃれ着の黄ばみをスッキリ落とします。 4. 自動槽洗浄で気になる洗濯槽を除菌**³。約60℃の温水スチームを発生させ、洗浄剤不要でも黒カビの発育を抑制**⁴する「約60℃槽カビクリーンコース」も搭載。 5.洗濯槽のお手入れタイミングをお知らせする「槽洗浄サイン」を新搭載。洗濯機を1ヶ月相当使ったら、運転終了後に操作パネルでお知らせします。 6.洗濯前に、気になる洗濯槽をすすぐ「サッと槽すすぎコース」を新搭載。汚れたものを洗った後や、赤ちゃんの衣類を洗う前に、サッとすすげて安心です。 7. 外出先やリビングからスマートフォン**5で洗濯の遠隔操作ができる**6「スマホで洗濯」。家に居なくても洗濯が可能に。 ※1:当社実験による、液体洗剤使用。4.5 kg洗濯時、粒子汚れの自色布(ポリエステル65%・綿35%)への汚れ移りを評価。衣類の素材・量、衣類の汚れ、洗剤の種類などにより効果は異なります。新しい色情物や色落ちしやすいもの、汚れがひどいものとは分け洗いしてください、22:(約40℃毛前)コースによる皮脂のにおい抑制方試験内容) 巨鉄験限別「近江オドエア・サービス(株) 巨鉄験方法 人工皮脂が付着した毛布片を6段階鬼気強度表示法に下評価 [におい抑制方法]高濃度洗剤液と加熱温水洗浄による [対象部分] 毛布等 [試験結果] 未洗浄: 2.75、洗浄後:1.5(∇Gシリーズは1.75) ※3: 武映機関](一財) 日本食品分析センター [試験成績書発行年月目 2014年4月22日 試験成績書発行番号 第14031842001-01号 [試験機関](一財) 日本食品分析センター [試験成績書発行年月日 2014年4月22日 「対象部分 ドラムおよび外槽に取り付けた菌液付着プレートの生菌数測定 [黒カヒ抑制方法) 加熱高温水と温水チームよこる (対象部分) 外槽 [販験 結果) 高波少率99%以上(自社換算値) ※5: AndroidTM OSバージョン7.0以上、iOSバージョン11.0以上のスマートフォンで、アプリの動作に保証を与えるものではありません。また、「スマホで洗濯」アプリはタブレット端末には対応していません。通信環境や、使用状況によっては、ご利用できます。(2020年9月16日現たしていません。通信環境や、使用状況によっては、ご利用できません。また、「スマホで洗濯」アプリはタブレット端末には対応していません。通信環境や、使用状況によっては、ご利用できたが、場合があります。

■"すき間時間"にちょこっと掃除を助ける家電

・コードレススティック掃除機



品名	コードレススティック掃除機「パワーコードレス」
品番	MC-SBU840K
特長	1. 新開発「からまないブラシ」(特許申請中)搭載で、髪の毛やペットの毛をからみにくくし、お手入れの手間を軽減・髪の毛が99%以上からまない実証済※1・毛量を従来比1.9倍※2に増やして高い掃除性能を確保・ノズル裏面のローラー表面を特殊加工でなめらかにし、毛がからみにくい2. パナソニック史上最高※3の吸引力(最大吸込仕事率:205W)3. 最大運転時間約90分※4を実現(ノズルブラシ回転オフ時)4. ハウスダストなど見えないゴミまで逃さない「クリーンセンサー」搭載5. 「親子のノズル」搭載(「親ノズル」でフロア・壁際、「子ノズル」ではすき間掃除)※1:当社調べ【試験方法】人毛(長さ20 cmと40~45 cm)を1サイクル0.25 gとし、3畳のフローリングにまき「強」「自動」運転で掃除機をかける。これを10サイクル行う。【試験結果】1サイクル後の回転部のブラシへの絡みつく毛量が1%以下●毛の太さや長さ、ベットの種類によってからむ場合があります。※2:当社に楽品MC-SBU33(のブラシユニットの毛量の比較※3:当社コードレススティック掃除機従来品(「強」と新製品「強」運転)との比較(2020年7月20日発売時点)※4:ノズルブラシ回転オフ時。ノズルブラシ回転オン時は、約40分。

■パナソニックのウェブマガジン「UP LIFE」内、「しない家事」関連記事

コロナ禍で家事負担がアップ! それでも変わらない夫婦の家事分担比率。「しない家事」へのニーズは過去3年で最高に。https://panasonic.jp/life/housework/100054.html

12